

ロマントピアの経緯

旧相馬村時代に、村民の地域に対する誇りや地域個性、そのために必要な地域住民の活力を生み出すことを目的として設置が検討され、村政100周年記念事業として着工、平成元年8月1日にオープンするに至りました。

観光施設として

観光面では、市街地に宿泊施設がホテル形態で集中する本市にとって、自然に囲まれた環境でゆったり滞在し、心身をいやすことが出来る、家庭連れも楽しめる数少ない宿泊施設であり、本市においても重要な宿泊施設である。

市民の憩いの場として

相馬村時代から市民にとって、温泉、プール、バーベキューなど楽しめる総合的な娯楽・レジャー施設で多くの市民に利用されている。

相馬地区のシンボルとして

相馬地区の地域のシンボリック施設であり、地区外から多くの人を訪れる地域活性化の拠点として、一つの施設という枠を超えた地域に欠かせない存在となっている。「相馬地区」の地域のシンボルとして、具体的な姿として「星と森のロマントピア」の施設を維持している。

各施設の開設年

- 昭和47年/1972年：ロマントピアスキー場(旧桜井スキー場)
- 昭和63年/1988年：天文台、テニスコート設立
- 平成元年/1989年：ロマントピア開業
満天ハウス12棟、多目的広場設立
- 平成2年/1990年：ロマントピアスキー場(旧桜井スキー場) 拡張
- 平成3年/1991年：バーベキューハウス7棟設立
- 平成5年/1993年：森林科学館設立
- 平成6年/1994年：炭焼き小屋、パターゴルフ場、野外ステージ設立
- 平成7年/1995年：白鳥座、ゴーカート場設立
- 平成18年/2006年：弘前市、相馬村、岩木町が合併
- 令和6年/2024年：現在今後の在り方について検討中